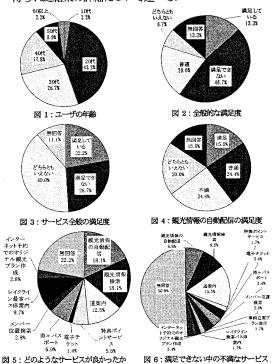
2R - 4

モバイル情報配信プラットフォーム TPOCAST- 松江観光 GIS 実証実験結果報告 2 -

茶園 篤, 二瓶 克己, 伊東 紀子 NEC インターネットシステム研究所

1. はじめに

モバイルユーザの TPO を考慮した情報配信プラットフォーム TPOCAST®を提案し,2000年12末~2001年3末に松江で実施された観光 GIS 実証実験にて,観光情報を配信するプラットフォームとして TPOCAST[1]~[3]が使用されたことを報告した[4]. 本論文では,実験で得られた結果の詳細について述べる.



2. 松江観光 GIS 実証実験結果

実験結果は、(1)紙ベースのアンケート(対象ユーザ数 45 名)、(2)TPOCAST ログ(対象ユーザ数 80 名)から取得した. なお、アンケート期間は実験全体の期間よりも短いため、対象ユーザ数が異なる.

2.1. アンケート結果

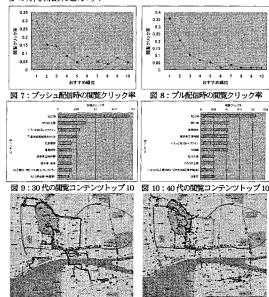
紙ベースのアンケートは、TPOCAST をメインとした 観光情報の配信について、ユーザが満足したかどうかと

TPOCAST: TPO-based Information Delivery Platform for Mobile Users – An Experiment Result Report of Sightseeing Project Using GIS in Matsue-City 2-

Atsushi CHAEN, Katsumi NIHEI and Noriko ITO Internet Systems Research Laboratories, NEC Corporation いう主観的評価からTPOCASTの有効性を検証することを目的とした. 図 1にユーザの年齢構成を、図 2~図 4 にアンケート結果を示す.

2.2. TPOCAST ログからの結果

TPOCAST ログの分析は、実際にTPOCAST が配信したデータに対するユーザ行動から、数値的な観点でTPOCAST が有効であったかどうかを検証することを目的とした. 加えて、ユーザがいつ、どこで、どんな行動をしたかという、ユーザ TPO を考慮した TPO マーケティングの可能性検討も目的とした. 図 7~図 12に、ログからの解析結果を示す.



3. 考察 3.1. サービス全般

図 11:20 代ユーザの行動履用

全般的な満足度(PDA 操作性、サービス含む)では、1 位 「満足できない」が 47%であり、2 位と 3 位の「普通」、「満 足している」を足した 33%よりも大きい(図 2). これは PDA の不評がだいぶ影響していると思われる. サービス 全般(PDA 操作性は含まない)の満足度(図 3)で、1 位「ど ちらともいえない」と 3 位「満足している」を足した値 62%が、2 位の「満足できない」 27%を大きく上回ってい ることからも推定できる. これらから、PDA の不評がサ

図 12:30 代ユーザの行動履歴

ービス全般の印象に悪影響を及ぼしていると考えられ、 アンケート結果は PDA の影響を考慮した上で取り扱う 必要がある.

次に、どのようなサービスが良かったか(図 5)から、提 供したサービス毎の満足度を評価する. 無回答を除き、 「観光情報の自動配信」と「観光情報検索」がそれぞれ 18%で同率 1 位であった. どちらも TPOCAST を利用し たサービスであり、TPOCAST の有効性が確認できた. 一方、サービス全般に「満足できない」と回答した人々は どのようなサービスに不満を持ったのか見てみる(図 6). 1位は「無回答」である. 満足したサービスでも1位は「無 回答」であった. これは PDA の操作性の問題から、各サ ービスを試すことができなかった人がいたためである. 無回答を除くと、1位は「道案内」で15%である。2位は 「観光情報検索」,3位は「観光情報の自動配信」である. 実験中によく使われたサービスが不満でも上位に来てい るが、TPOCAST を利用したサービスは不満では1位に はならなかった.

観光情報配信の満足度 配信効果

アンケートでの観光情報の自動配信(プッシュ配信)の 満足度が、満足と普通を合わせて40%と不満24%を大き く上回る結果となり全般的に満足してもらえたと考えて いる(図 4).

TPOCAST ログからは、TPOCAST による観光情報配 信の有効性を示す指標として、クリック率が考えられる. クリック率は、各ユーザの嗜好を考慮した"おすすめ順 位"付きで配信した観光コンテンツリスト中の、どの観光 情報をクリックして詳細ページを閲覧したかを測定した ものである. コンテンツリスト中のいずれの観光情報も クリックされなかった場合は、配信されなかったものと して扱った. コンテンツリスト上位(おすすめ順位が高 い)の観光情報ほど、観光客の TPO を満たしているはず であり、上位のコンテンツほどクリック率が高くなって いれば TPOCAST の有効性を示せたと言える. しかし、 一般のWeb サーチエンジンでも、提示されたリスト中の 上位の情報をユーザはクリックする傾向がある.厳密に は今回の実験でも順位をランダムにして観光情報を提示 し、どの観光情報をクリックしたかなどの比較実験をす る必要がある. しかしながら、本実験はNEC 単独の実験 ではなかったので、観光客に負担を強いる比較実験は出 来なかった. 比較実験については,今後の課題である. 図 7. 図 8に示す閲覧クリック率を見ると、プッシュ配信時 ならびにプル配信時共に右肩下がりのグラフとなってお り、上位の観光情報ほどクリック率が高くなっている. プル配信では観光客の明示的な要求の分だけ、プッシュ 配信よりもグラフの形が滑らかになっている.

3.3. 嗜好の重要性

年代別のプッシュ配信時の閲覧コンテンツトップ 10 を見ると、30代では上位3件は松江城、カラコロ工房、松 江レイクライン、40代では松江城、明々庵、塩見縄手と興 味のあるコンテンツが異なっている(図 9. 図 10)、この ように年代によって嗜好が異なることが分かる.実際に は年代という大雑把な分類だけでなく、個々人によって 嗜好は異なる. 実験結果から, 改めて個人の嗜好を考慮 してコンテンツ配信を行うことの重要性を確認した.

3.4. マーケティングツールとしての可能性

TPOCAST はユーザがいつ、どこで、どんな行動をし たかを記録している. また, ユーザ個々の嗜好データか ら集団の嗜好を生成することができる. ユーザの行動記 録からは,図 11,図 12に示すようにユーザがどのよう に移動したかを年代別などで見ることができる。20代以 外のユーザは、ほぼ観光バスのルートに沿って移動して いるが、20 代ユーザだけはバスルートから外れた場所を 徒歩(位置情報送信密度から推定)で移動している。この ようにユーザの行動記録から、若者に興味のあるエリア を探し出すといった使い方も考えられる. 集団の嗜好か らトレンド情報を抽出することもできる. 従来の GIS を 活用したエリアマーケティングからユーザ個々の TPO を考慮することで、さらに進んだTPOマーケティングを 実現できる可能性がある.

おわりに

モバイルユーザ向けのパーソナライズ情報配信プラッ トフォームTPOCASTが、松江市で2000年12末から 2001年3末まで実施された松江観光GIS実証実験で. 観 光情報を配信するプラットフォームとして採用された. TPOCASTを使用したサービスは、本実験で提供したサ ービスの中で満足度トップ2を占めるという高い評価を 獲得し、TPOCASTによる情報配信の有効性を確認した. また、ユーザ個々の嗜好を考慮した情報配信の重要性を 確認した. 実験で得られた貴重なノウハウを今後の研究 開発に反映させていきたい.

謝辞

実証実験の場を与えて頂いた松江市、日本観光協会に 感謝いたします.

参考文献

- [1] 伊東、二瓶、茶園、"モバイル情報配信ブラットフォームTPOCast"、シンポジウム「ケータイ・カーナビの利用性と人間工学」、2001. [2] 二瓶、伊東、茶園、"TPO ベースのモバイル情報配信ブラットフォーム TPOCast・松江市における観光 GIS 実証実験への適用・"、第3回ネ ットワーク社会とライフスタイルワークショップ、電子情報通信学会、 2001
- 2001 茶園、二瓶、伊東、"モバイル情報配信プラットフォーム TPOCast・松 江市における観光 GIS 実証実験への適用・", 3ZA-2, 第62 回情報処理 学会全国大会, 2001.
- 茶園、伊東、"モバイル情報配信プラットフォーム TPOCAST・ [4] 二瓶,茶園,伊果,モバイルル同刊時間 松江観光 GIS 実証実験結果報告 1-*